

## 今後の取組みにあたって：知事コメント

### 総評

- ・社会経済の変化に対応しながら、日本の未来を創り、活力を生みだしていくのは「若い力」である。子どもたち自身が豊かな人生を自ら切り拓き、持続可能な社会の担い手となるよう、「人生を自ら切り拓いていく人」「認め合い、尊重し協働していく人」「世界や地域とつながり社会に貢献していく人」を大阪の教育が育む人物像とし、多彩で柔軟な特色・魅力ある教育を提供していくことで、大阪の教育力の向上を着実に進めていく。
- ・今後、「第2次大阪府教育振興基本計画（令和5～14年度）」のもと、「確かな学力の定着と学びの深化」、「豊かな心と健やかな体の育成」、「将来をみすえた自主性・自立性の育成」と、それらを支える教員の人材育成や地域・企業等との連携、学校施設等の環境整備に、全力で取り組んでいく。
- ・また、高校等における授業料の無償化を通じて、大阪の子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の進みたい道に進み、自らの可能性を追求できる社会づくりを進めていく。

### <学力>

- ・小・中学校においては独自の学力テストなどにより、一人ひとりの把握を行うとともに、高等学校では公私の切磋琢磨のもと、府立高校においてはグローバルリーダーズハイスクールやエンパワメントスクールなど魅力・特色ある学校の設置を進め、一人ひとりの力を最大限伸ばす教育を進めてきた。
- ・今後は、**1人1台端末をはじめとするICTを効果的に活用し、一人ひとりに応じた学習や協働的な学習**を行うことで、学びの深化を図るとともに、Society5.0時代に求められる**創造性、多様性、持続可能性を軸とした社会課題の解決や新たな価値を創造する能力を育て**ていく。
- ・さらに、**大阪府独自開発の英語アプリ**を活用した**個別最適な英語学習を行う**など、子どもたちがコミュニケーションツールとしての「使える英語」を身につけ、グローバル社会で活躍できるよう、**小学校から高校まで一貫した実践的な英語教育**に力を入れていく。

### <支援教育>

- ・「ともに学び、ともに育つ」教育の推進により、一人ひとりの障がいの状況等に応じた教育環境の整備を進めてきた。引き続き、支援を必要とする児童生徒等の増加や支援教育のニーズの多様化を踏まえ、**支援学校の教室不足解消に向けた学校の新設や増築等を計画的に進め**、通常の学級、通級指導、支援学級、支援学校等の**学びの場を充実させていく**。あわせて、自立支援推進校等のノウハウの共有など**支援教育の専門性の向上を図**っていく。

### <不安や悩みを抱える子どもたちへの支援>

- ・小学校から高校まで一貫したキャリア教育を推進するとともに、スクールカウンセラーなど専門家を配置し、不安や悩みを抱える子どもたちへの支援を行ってきた。引き続き、**いじめや貧困、虐待、ヤングケアラーなど、子どもたちをめぐる状況や課題に早期に対応するため**、専門家や福祉機関等と連携した相談体制の充実を行い、**セーフティネットとしての学校の役割を果たして**いく。

### <多様な主体との協働>

- ・学校の教育活動への地域人材の参画を促し、地域のネットワークづくりなど開かれた学校づくりを進めてきた。今後とも、社会の変化や子ども・保護者のニーズが多様化する中、地域・企業・大学など多様な主体と協働し、地域とともにある学校づくりを推進していく。
- ・また、**専門人材の活用や地域・大学・企業等と積極的な連携**を行うことで、実践的で専門性の高い教育を実現していく。加えて、学校間の連携と外部人材の効果的な活用により、子どもたちの**部活動の機会や選択の幅を確保**し、部活動の質を高めながら、同時に**教員の働き方改革につなげて**いく。